



やみの中を歩んでいた民は、
大きな光を見た。
死の陰の地に住んでいた者たちの上
に光が照った。
(イザヤ9：2)

メリー・クリスマス!

2006年は、国内でのコンサートを始め、海外ではNYカーネギーホール、メキシコシティ、杭州基督教会崇一堂(中国)で賛美奉仕をさせていただきました。

11月の杭州基督教会崇一堂では、ノロウィルス感染の中での賛美奉仕でしたが、崇一堂の約60名の兄弟姉妹が、講壇下にある暗く寒い祈祷室で、コンサートの間、祈りを捧げてくださっていたことを後で知らされました。

賛美中、足もよろけず、声も弱らず、神の大きなご臨在を感じながら賛美を捧げさせていただいたのは、会堂に集われた皆さんと、足下からたち上る聖徒たちの神への香ばしい捧げ物に包まれていたからであったのだと、胸が熱くなりました。

その後も長引く風邪をひいてしまいましたが、皆様が掲げてくださった祈りの手に支えられ、これまでのコンサートをひとつもキャンセルすることなく、無事果たすことができました。力強い御手をもって導いてくださった主と皆様に心から感謝申し上げます!

また、コンサートを通して、主が多くの方々を、信仰決心や受洗決心、求道へと導いてくださいました。主がその方々のこれからの歩みを、大きな愛と恵みをもって導いてくださいますように!

12月24日のクリスマス・イブは、仙台グレース・チャペルの礼拝で、賛美と証しの時を持たせていただくことになっています。これが今年最後の賛美奉仕になります。共にお祈り下さい!

どうぞ、皆様も、主のご愛にあふれたクリスマスを過ごされますように!
感謝と祝福の祈りをもって

工藤篤子

(写真：12月9日、奈良県民クリスマス)